

番 号	令和6年度（消防）第17号		設 計 書				
件 名	防火服購入						
場 所	名張市 鴻之台1番町 地内						
設 計 額	一金	円	内税抜価格	調 査 設 計	令和6年3月6日 令和6年3月12日		
期 間	契約締結日～令和7年3月31日まで			積 算	検 算	確 認	
概 要				施 行 理 由			
<p>【単価契約】 【予定数量】 11組 防火服一式の購入 一式の構成は防火服上下、防火帽、しころ、補助ポケット及び防火靴とする。</p>							

設 計 用 紙

名 張 市

防火服購入

単価 内訳

符号	名 称	適 用	単 位	予 定 数 量	単 価	金 額	備 考
1	防火服	一式 (防火服上下、防火帽、しころ、補助ポケット及び防火靴)	組	1			単価
		消費税相当額(10%)					
		合計					

予定数 内訳

符号	名 称	適 用	単 位	予 定 数 量	単 価	金 額	備 考
2	防火服	一式 (防火服上下、防火帽、しころ、補助ポケット及び防火靴)	組	11			予定数
		消費税相当額(10%)					
		合計					

防火服購入

名張市

第1章 総則

1. 総則

- (1) 本仕様書は、名張市（以下「当市」という。）が発注する吏員用防火服一式（防火服上下、防火帽、しころ、補助ポケット、防火靴。以下「防火服一式」という。）について定めるものとし、製作に係って本仕様書に記載のないものについても、当然必要と認められる事項については誠意をもって行うものとし、その全ては契約金額の範囲で実施するものとする。
- (2) 防火服一式の製作に要する費用は、当初に契約した契約金額のとおりとし、追加請求は一切認めないものとする。
- (3) 製品の納入に際しては、1着ごとに袋により包装し納品すること。
- (4) 検収については納入時に実施するが、検収後においても欠損を認めた場合は、受注者の責任として修理・交換を行うこと。
- (5) 納入場所は、名張市消防本部消防総務室（名張市鴻之台1番町2番地）とする。
- (6) 本仕様書に定めのない事項及び、本仕様書に疑義が生じた場合については、当市に指示を受けること。

2. 契約方法

防火服一式あたりの単価契約とする。

3. 数量及び期限

- (1) 予定数量 11組
- (2) 履行期限 令和7年3月31日まで

第2章 防火服上下

1. 概要

この防火服は、外衣と中衣からなる多層構造とし、現場活動等において運動機能性の向上及びヒートストレス軽減を考慮し、上衣はショート丈とし、ズボンはハイウエストタイプの特殊立体デザインで、外衣と中衣は着脱可能なものとする。防火服上衣は単体で、防火服ズボンは当市夏用活動服ズボン着用で、防火服のISO規格 11999-3 TYPE1 及び平成29年3月7日策定（令和4年3月改定）の総務省消防庁発行の消防隊員用個人防火装備に係るガイドラインに準拠したものとする。

また、血液・体液を媒介とする感染症病原体から隊員を保護するため、透湿防水層には、JIS T8060D 及び JIS T8061 D に規定されている人工血液バリア性、ウィルスバリア性試験においてクラス6レベルに適合する素材を用いること。

2. 使用材料

(1) 外衣生地（上衣／ズボン共）

品番	X27A45・X27A20
混率	メタ型アラミド 82% ・ パラ型アラミド 18%
色番	YE5・NB3（メタ型アラミドは原液着色）
組織	特殊織 ダイヤモンドリップストップ

密度	縦46本以上	横44本以上 (2.54cm間)
糸使い	縦・横とも 20番手双糸	
重量	235±15g/m ²	
制電性	7μC以下 (JIS L 1094 摩擦帯電電荷量測定方法)	
色相	ゴールド・ネイビー	
加工	撥水・撥油加工	

(2) 中衣生地

ア. 透湿防水層 (上衣/ズボン共)

アラミド100%基布にゴアクロステック®メンブレンをラミネートしたものとする。

(人工血液バリア性 JIS T8060D 法、ウィルスバリア性試験: JIS T8061D 法 クラス6合格)

(止水用のシームテープは良質なPTFE素材とし、ウレタン系素材の使用は不可とする。)

イ. 遮熱層兼裏地

組成 アラミドを主体とした難燃生地とする。

(上着用) 種類 テックウェーブ® (TM)

品番 X29F20

色相 濃紺

(ズボン用) 種類 エクスファイア®リップストップ

品番 X29R20

色相 濃紺 (格子部は生成り色)

(3) 補助材料

ア. 内袖口	アラミド100%ニット	
イ. 面ファスナー	幅25mm・38mm・50mm (FAR難燃・制電)	
ウ. 反射材	ユニチカスパークライト社製シリコンレーン付きパンチングメッシュ 75mm幅・50mm幅 (イエロー/シルバー)	
エ. ファスナー	YKKファスナー	布地はアラミド100%
オ. サスペンダー	ゴム製テープ幅約38mm黒色 ホルスター型	
カ. 押しホック	真鍮製#7050	
キ. 縫製糸	メタ型アラミド 100% 40番	パラ型アラミド (フィラメント) 30番 (反射材部分)
ク. 樹脂テープ	ナイロン黒 幅約25mm	
ケ. 補強布	アラシールド	
コ. 付属品	防火服用保冷材 2個	

3. 性能

(1) 外衣

引張強度	縦1400N以上	横1200N以上
引裂強度	縦 210N以上	横 180N以上
残炎時間	1秒以下	
残塵時間	1秒以下	

炭化面積	10 cm ² 以下
洗濯堅牢度	4級以上
対汗堅牢度	4級以上
摩擦堅牢度	4級以上

(2) 中衣 (使用材料)

引張強度	縦 196 N / 5 cm以上	横 196 N / 5 cm以上
引裂強度	縦 19.6 N以上	横 19.6 N以上
残炎時間	1秒以下	
残塵時間	1秒以下	
炭化面積	15 cm ² 以下	
耐水圧	初期 294 kPa 以上	
	20回洗濯後 294 kPa 以上	
透湿度	850 g / m ² · h 以上	
液体浸透性	全層一括測定、流下 ≥ 80 %	
	最下層部への到達不可	

※以上の測定は JIS 規格の測定に基づく

4. 縫製

(1) 全般

- ア. 各部の縫い合わせ及び糸調子は良好であること。
- イ. 縫い代は約 1 cm とし表地はオーバーロックを掛け、縫い始めと縫い終りは返し針を施すこと。
- ウ. 各部の縫製は防水構造を用いた縫製とする。

5. 上衣

(1) 身頃

- ア. 前身頃のハギ脇合わせはオーバーロックを掛け、地縫いをして片倒し飾り縫いをする。
- イ. 左前身頃に幅 10 cm の前立て付きとし、前立て内側に面ファスナー及びコイルファスナーを縫い付ける。
- ウ. 右前身頃に面ファスナーとコイルファスナーを付ける。
- エ. 左右前身頃の上方にマイクハンガーを水平に取り付ける。
- オ. マイクハンガーはライトも取付けられるよう 2 分割とする。
- カ. 後身頃は一枚仕立てとする。
- キ. 前身頃の胸部及び裾並びに後身頃の背中、裾及び縦両脇 (概要図参照) に反射材を縫い付ける。
- ク. 左右肩部に補強と保護のためアラシールド基布を縫い付ける。
- ケ. 見返し上部にハギを入れ、中衣着脱のコイルファスナーを付ける。
- コ. 裾部形状は、前身頃と後身頃で長さが異なるショート丈タイプのデザインとする。
- サ. 右前身頃見返し下部に片布、織りマークを取り付ける。
- シ. 見返しの適宜位置に一般社団法人 日本消防服装装備協会 (JFCE) の認定マークを取り付ける。

(2) 襟

- ア. 表及び裏に表地共布を用いた一枚襟とし、芯地を入れ、地縫いのうえ飾り縫いをする。
- イ. 襟の高さは中央部で約11cmとする。
- ウ. 襟付けは防水構造を用いた縫製とする。
- エ. 襟を立てて使用する際の首元の保護として前部にはストラップを取り付ける。
- オ. 襟付け中央部に襟吊りとサイズマークを縫い付け、襟吊りは閉止めを施すこと。

(3) 袖

- ア. 袖は特殊ハギを用いた4枚袖とし、運動性を良くするために後袖山にダーツを設ける。
- イ. 袖口内側にコーネックス紺色ジャージと浸水防止用にゴアクロステックを縫い付ける。
- ウ. 袖口は斜め形状（概要図参照）とする。
- エ. 袖口及び肘部に補強と保護のためアラシールド基布を縫い付ける。
- オ. 中衣は袖口裏のホックとループで留める。
- カ. 袖口から上側は約13cmあけて反射材を縫い付ける。
- キ. 左右袖上部にワッペン取付け用の面ファスナーを付けることとし、寸法は当市と協議のうえ決定すること。

(4) ポケット

① 胸ポケット

- ア. 左前身頃胸部に雨蓋付きの三方風巾型ポケットを縫い付ける。
- イ. 右前身頃胸部はモールシステムで着脱できる構造とし、ポケットサイズは左胸と同寸法とする。
- ウ. ポケット内側にループを付け、ポケット底部には水抜き穴を設ける。
- エ. 雨蓋は三分割式とし、裏面に面ファスナーを取り付けること。
- オ. ポケットのサイズは、当市が使用する無線機が収納できる大きさで左右同じ形状とし、当市と協議のうえ決定すること。
- カ. 雨蓋とポケットのマチはネイビー配色とする。

② 脇ポケット

- ア. 左右腰部にポケットを設けること。
- イ. 形状は三方風巾型で左右とも雨蓋付きとする。
- ウ. 雨蓋は芯地を入れ、面ファスナーを付け、地縫いのうえ飾り縫いとする。
- エ. 雨蓋の前方はアラシールド基布を取り付け、下端中央につまみを取り付ける。
- オ. ポケット上部裏面に力布としてゴアテックス布を縫い付ける。
- カ. ポケット内側に警笛用共生地ループを取り付け、底部に水抜き穴を設ける。
- キ. 雨蓋とポケットのマチはネイビー配色とする。

(5) カラビナ掛け

左右の胸ポケットと脇ポケットの間の身頃にカラビナ掛け用のD環を取り付ける。

(6) 中衣

- ア. 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地とし、各々を重ね縫いする。
- イ. 肩部に難燃フェルトを縫い付ける。
- ウ. 両脇部に保冷材収納用ポケットを縫い付ける。
- エ. 透湿防水層は地縫いのうえ、片倒し飾り縫いをしてシームテープで目止めをする。
- オ. バイヤステープで袖口を始末し、左右端に外衣着脱用コイルファスナーを付ける。

カ. 中央上部に取扱表示、ゴアクロステック片布及びサイズマークを縫い付ける。

キ. 前身頃下部に品質表示を縫い付ける。

(7) 名称表示

ア. 前身頃前立て上方に縦に「**MIE NABARI F.D.**」の反射文字をゴシック体で表示すること。

イ. 後身頃背ヨーク部に「**MIE NABARI FIRE DEPT.**」の反射文字をゴシック体で表示すること。

ウ. 後身頃裾部に「**名張消防**」の反射文字をゴシック体で表示すること。

エ. 大きさ等については当市と協議のうえ決定すること。

6. ズボン

(1) 身頃

ア. ズボンの形状は、ハイウエストタイプで最初からゆるやかな「く」の字の様に曲がっている立体型のデザインとし、調整ベルト及び腰部の墜落制止用器具で支持し、着脱可能なサスペンダーで肩から補助するものとする。

イ. 内股部・脇部に運動性を良くするための特殊ハギを入れる。

ウ. 脇縫い・内股縫い・尻縫いは裁ち目にオーバーロックを掛け、地縫いし片倒し飾り縫いとする。

エ. 左前身頃側面に墜落制止用器具のショックアブソーバーを固定するためループを付ける等の対策を行う。

(2) 前立て

ア. 前立てはコイルファスナー及び面ファスナーの併用仕立てとし、上部を押しホックで留める。

イ. 押しホックの裏側には防水層生地の当て布を付ける。

(3) 腰部

ア. 上方位置に、腰部両脇で確実に締められる構造の固定式ベルトを取り付ける。調整ベルトの幅は約38mmとする。

イ. 調整ベルトは先が抜けないように先金（樹脂製）付きとし、締め付けた後、緩まないように面ファスナーで固定できる構造とする。

ウ. 調整ベルトの下方に横幅約60mmの墜落制止器具用ベルト通しを5本取り付け、右前ベルト通しの下にサイズマークを挟み縫いする。

エ. 前身頃左右上部に外衣共生地でサスペンダー受け金具支持台を付け、端末部分は閉止めをする。

オ. サスペンダーはホルスター型とする。

カ. 腰周り裏地に中衣着脱コイルファスナーを付け、前立裏の両脇部に面ファスナーを取り付ける。

キ. 左腰裏に片布及びサイズマークを縫い付ける。

ク. 裏側の適宜位置に一般社団法人 日本消防服装装備協会（JFCE）の認定マークを取り付ける。

(4) 膝部

ア. 運動性を良くするために膝部はバイヤス裁ちにする。

イ. 補強と保護のためアラシールド基布を用いた膝当てを縫い付ける。

(5) 裾

ア. 両裾から約10cm上の位置に反射材を縫い付ける。

イ. 裾口脇側に開閉コイルファスナーを取り付ける。

ウ. 裾口に絞り用の共生地フラップ及び面ファスナーを取り付ける。

エ. 裾口には補強と保護のため幅約3.5cmのアラシールド基布を縫い付ける。

オ. 中衣固定のため、押しホック付きナイロンテープを裾口裏に取り付ける。

(6) ポケット

ア. 左右脇部に二方風巾型の雨蓋付きポケットを縫い付ける。

イ. 雨蓋は芯地を入れ、裏面に面ファスナーを付ける。

ウ. 雨蓋は前方にアラシールド基布を取り付け、下端中央につまみを取り付ける。

エ. ポケット底部に水抜き穴を設ける。

(7) 中衣

ア. 中衣は透湿防水層と遮熱層兼裏地とし、各々を重ね縫いする。

イ. 透湿防水層は地縫い片倒しをして飾り縫いし、シームテープで目止めをする。

ウ. バイヤステープで腰部及び裾口を処理する。

エ. 腰周りに外衣着脱コイルファスナーを付け、前立て両脇部に面ファスナーを付ける。

オ. 左身頃上部に取扱表示、品質表示、ゴアクロステック片布及びサイズマークを取り付ける。

8. サイズ

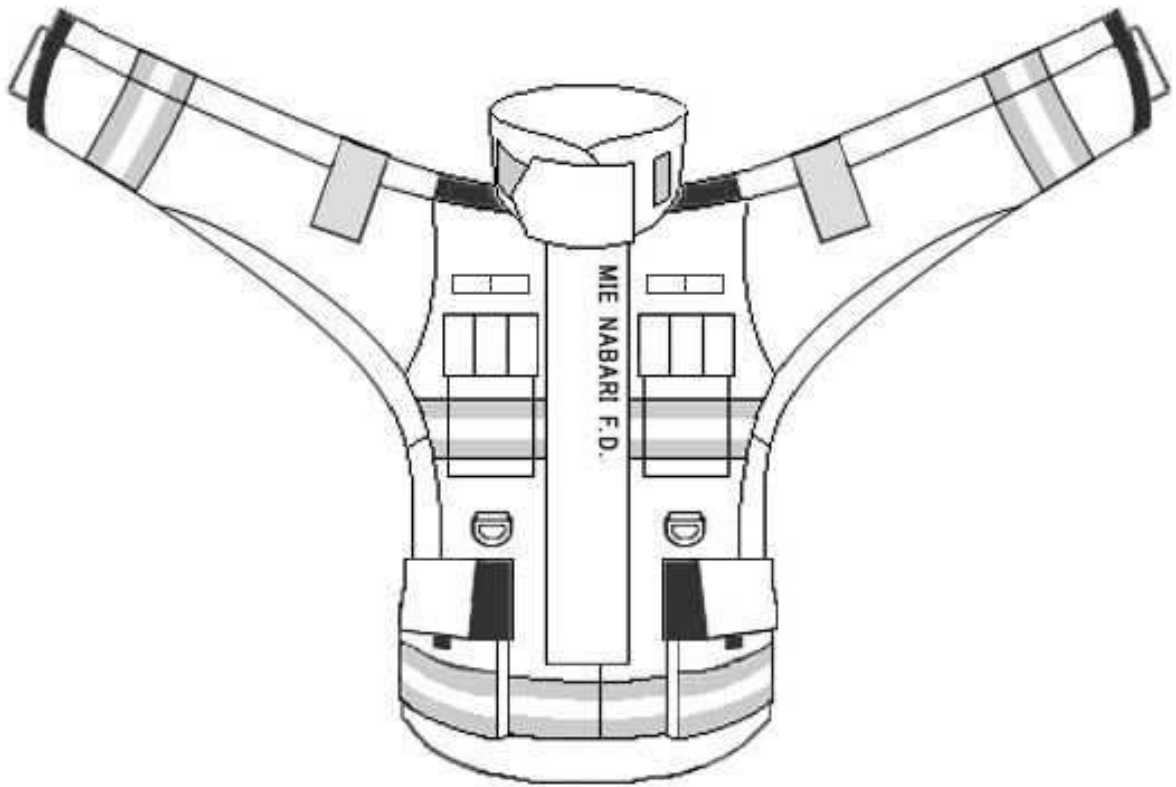
上衣 (単位 cm)

サイズ	着丈(前身)	着丈(後身)	衿丈	胸囲	裾回
S	61	69	77	116	112
M	63	71	80	120	116
L	67	75	83	124	120
LL	71	79	86	130	126
3L	75	83	89	136	132
4L	79	87	92	146	142
BM	67	75	78	124	120
BL	71	79	81	130	126
BLL	75	83	84	136	132

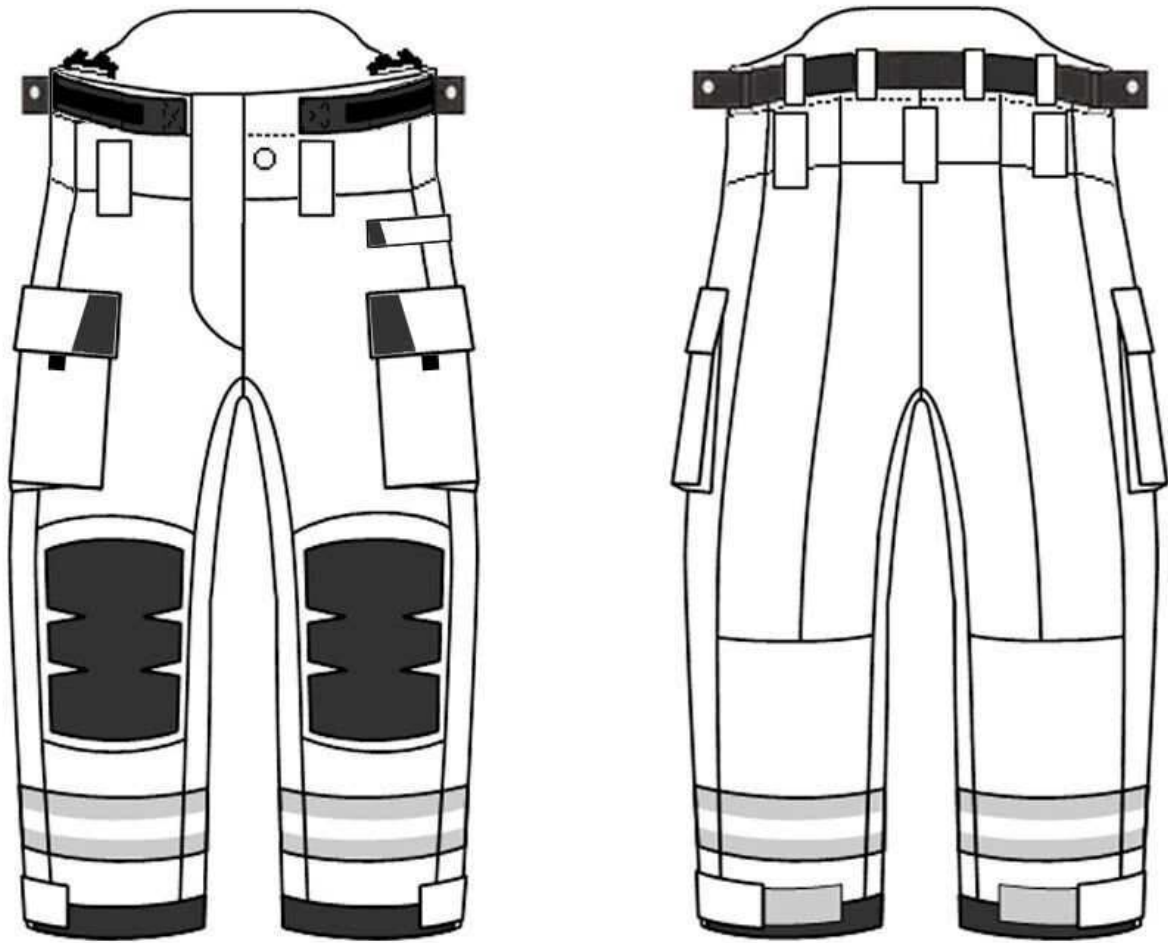
ズボン (単位 cm)

サイズ	腰回	股上(前身)	股上(後身)	股下	渡り巾
W80	80	33	38	70	36
				75	
W85	85	34	39	70	37
				75	
W90	90	35	40	70	38
				75	
W95	95	35	40	70	39
				75	
W100	100	36	41	70	40
				75	
W110	110	37	42	70	43
				75	
W120	120	38	43	70	46
				75	

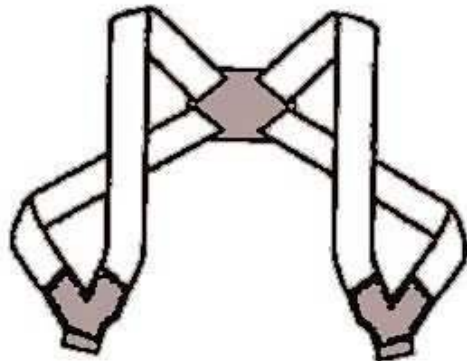
概要図 上衣



概要図 ズボン



概要図 ホルスター型サスペンダー



第3章 防火帽

1. 総則

この防火帽は、JIS 認定工場で作成したものとし、労働安全衛生法（昭和 47 年法律第 57 号）第 42 条の規定に基づく保護帽の規格（昭和 50 年 9 月労働省告示第 66 号）及び JIS-T-8131 の飛来・落下及び墜落による危険防止をするためのすべての条件を満足する性能を有するものであること。また、「消防隊員用個人防火装備に係るガイドライン（改訂版）について」（平成 29 年 3 月 7 日付け消防第 44 号）に適合すること。

2. 規格

規格等は、表 1 の通りとする。

表 1（規格等一覧）

項目	規格等	
帽体	ガラス繊維を基材としたポリエステル樹脂による強化プラスチック製	
衝撃吸収ライナー	耐熱性を施した発泡スチロールとし、衝撃吸収性能を有するもの	
着 装 体	ハンモック	ポリエチレン成形品、白色
	補助ハンモック	
	しころ取付板	ナイロン成形品
	ヘッドバンド	ナイロン成形品・ラック式ダイヤル部（POM樹脂）
	ラatchet調整ダイヤル	特殊成型品、黒色
	補助ハンモック調整ひも	ポリエステル又はナイロン製、白色、長さ 350mm 以上 両端ほつれ止め処理
装着体固定リベット	防食性を有する金属製（あごひもの固定金具を兼ねる事が出来るもの）	
あごひも	アラミド重織、グレー色、幅 18mm、全長 520mm 以上 （メタ系アラミドは原材着色とする）	
あごひも調整金具	黄銅製または同等の強度及び防食性を有する金属製 （黒色ニッケルメッキを施したもの）	
顔面保護板	ポリカーボネード成形品（両面をハードコート・防曇加工）、無色透明 縦 約 120mm ± 5mm 横 約 190mm ± 5mm 厚さ 約 1.6mm	
帽体の自己消火性	残炎・残じん時間：5秒以下	
	プロパンガス（純度 95% 以上）をブンゼンバーナー（口径 10mm）を使用して、青色炎が 15mm となるように調節して燃焼させ、帽体のつば後部中心から左右 50mm、縁から 20mm の位置を試験点とし、帽体のつばを水平に保持し炎の先端を試験点に 10 秒間当てた後、炎を取り去り、帽体の残炎・残じん時間を調べる	
	試験方法は JIS T - 8131 : 2000 燃性試験による	

3. 性能

帽体については、自己消火性を有することとし試験方法等については、表1の通りとすること。

4. 構造

防火帽は、ガンメタリック色の帽体表面に徽章を貼り付け、帽体内側に衝撃吸収ライナー、ヘッドバンド等の装着体及び可動式の顔面保護板を取り付け、帽体下部の外周部にしころを取り付けられるものとする。また、帽体外部にはヘッドライト取り付け用のドット釦を両サイドに取り付けたものとする。

5. 形状等

(1) 帽体

- ア. 本体はNEO-P23型とし、概要図のとおりとすること。
- イ. 表面は滑らかで、堅牢であること。
- ウ. 外面（表面）の仕上げはガンメタリック色の塗装とし、容易にはく離しないこと。
- エ. 帽体前面中央に徽章を強固に取り付けること。
- オ. 帽体左右側面に、「名張消防」と白色のゴシック体で表示すること。
- カ. 帽体後部に「MIE NABARI F.D.」と白色で表示すること。詳細は当市と協議すること。
- キ. 帽体に赤スコッチテープでラインを入れること。（概要図参照）
- ク. 帽体後部中央に半月環状の掛け金具を取り付けること。

(2) 装着体

- ア. ハンモックはかぶり深さを調整でき、補助ハンモック付きとすること。
- イ. ヘッドバンドは頭回りに応じ、概ね54cmから65cmまでの範囲でラチェットダイヤル等で調節できることとし、装着時でも容易に調整可能なものとする。
- ウ. しころ取付板には押しホック（オス）を5個取り付けてあること。
- エ. 頭頂部にクッション性、吸水性及び耐久性に優れた素材を使用した小判型の頭頂パッドを着脱可能な方法で取り付けること。

(3) あごひも

あごひも（アゴ締め用）は、ワンタッチバックルで着脱できるものとし、使用中に防火帽が脱落したり、ぐらついたりしないように確実に締められるものとする。

(4) 衝撃吸収ライナー

難燃性を施した発泡スチロール（難燃レベル UL94 5VAクラス）とする。

(5) 顔面保護板

- ア. 前面からの注水に対し顔面を保護できる構造とし、視界の妨げとなるゆがみ等がないこと。
- イ. 帽体ひさし部より内部の視野の障害にならない位置に収納出来るものであり、使用時に簡易に引き出せる構造であること。

(6) その他

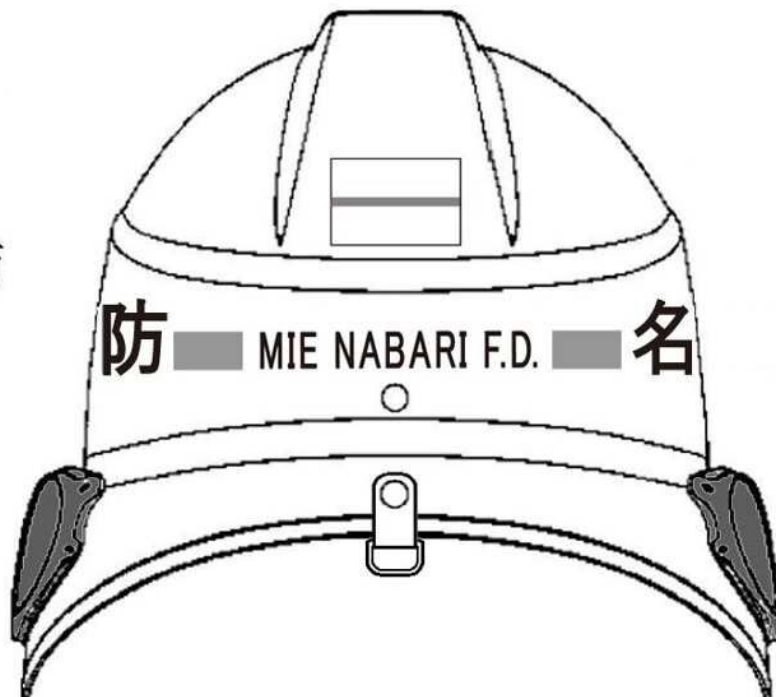
- ア. 帽体後部中央の上方位置に別途指示する階級シール（約60×40mm）を取り付ける。
- イ. 側面の黒色カバーの楕円部分に別途指示する所属別に色分けしたシールを貼りつける。

概要図

正面

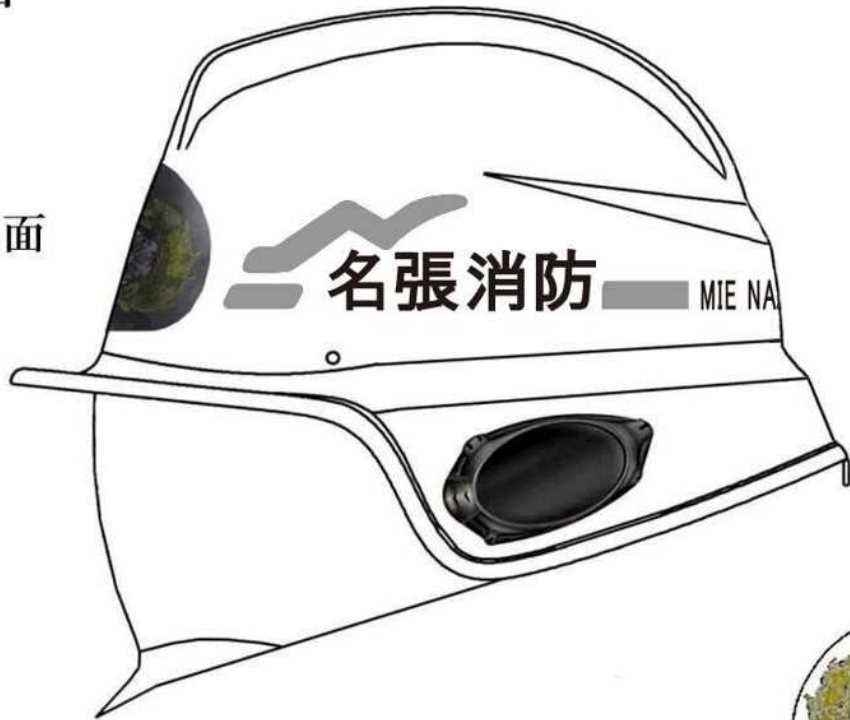


背面



概要図

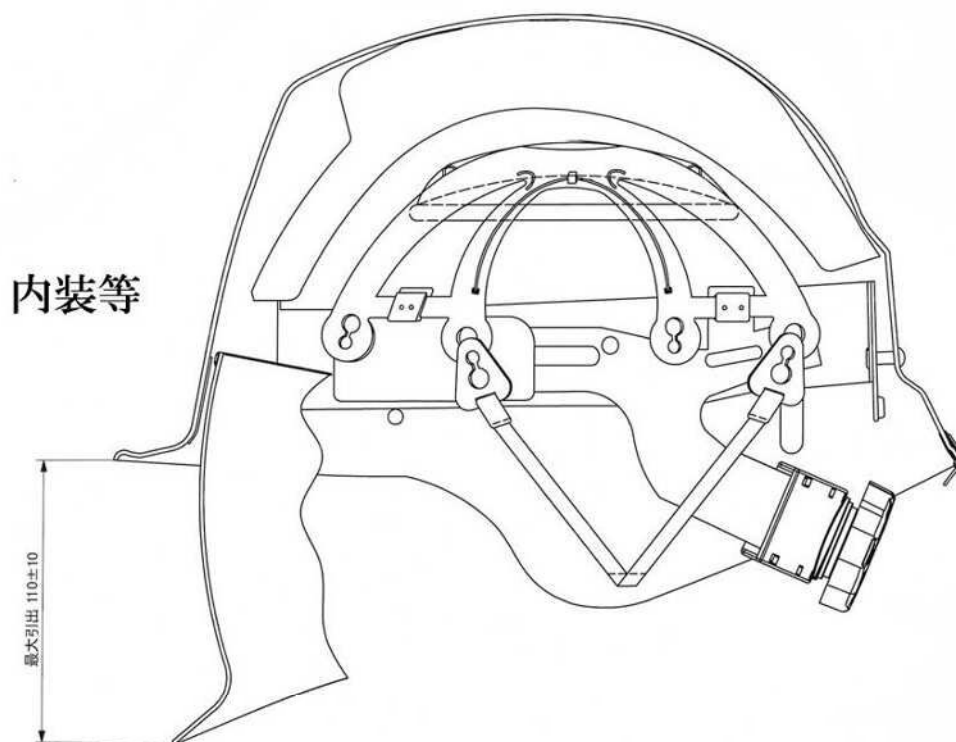
左側面



右側面



概要図



第4章 しころ

1. 概要

防火服の表生地と同じ素材を使用し、裏側は防水加工布を使用したものとし、押しホックにて防火帽へ取り付け出来る構造とすること。

2. 形状

形状は概要図の通りとすること。

3. 縫製

ア. 各部の縫い合わせ及び糸調子は良好であること。

イ. 縫い代は約1cmとし表面はオーバーロックを掛け、縫い始めと縫い終わりは返し針をする。

ウ. 表地は防火服外衣生地を使用した1枚裁ちとし、傷、汚れ等のないものとする。

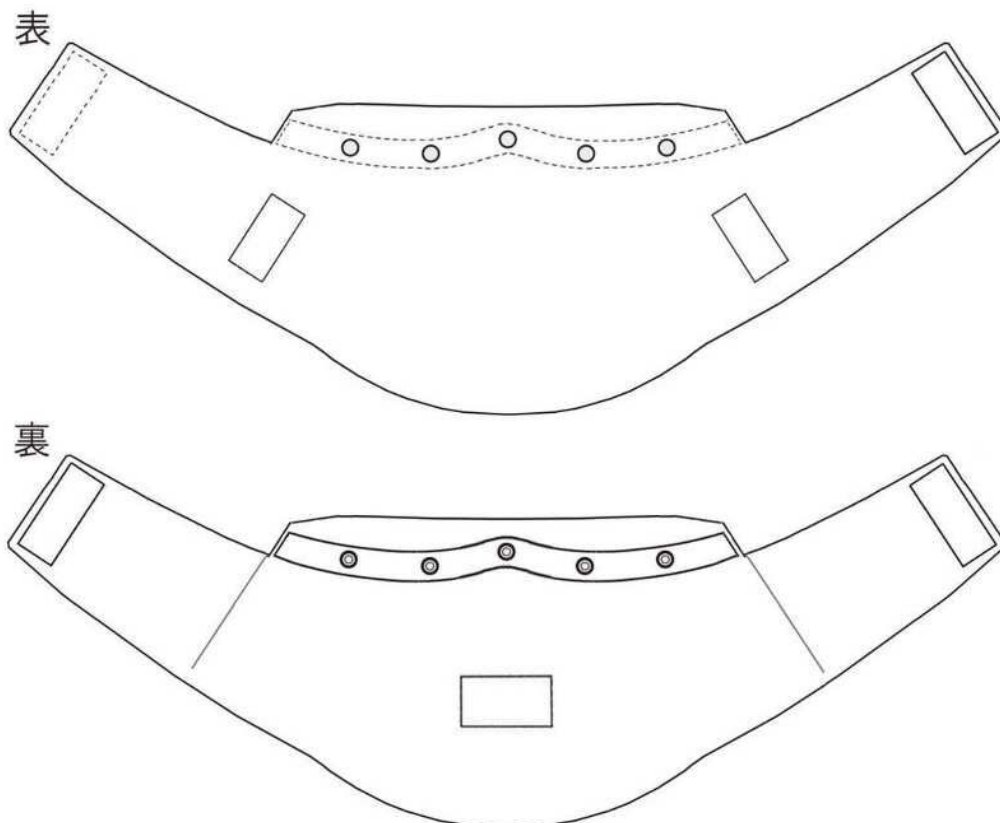
エ. 顔面を覆う折り返し部は外衣共生地を使用し縫い付ける。

オ. 幅は中央部で約26cmとし、裏面中央に片布を縫い付ける。

カ. 上部縁に綿テープを縫い付け、防火帽へ取り付ける為の押しホックを5個取り付けること。

キ. しころの左右端に前合せ用の面ファスナーを取り付ける。

概要図



第5章 補助ポケット

1. 概要

この補助ポケットは、墜落制止用器具に取り付け出来るものとする。

2. 使用材料

(1) 主生地

防火服外衣生地とする。

混 紡	メタ型アラミド 82% ・ パラ型アラミド 18%
色 相	ゴールド
特殊加工	撥水加工、撥油加工、帯電防止加工

(2) 補助材料

ア. 裏 地	アルミ粉末コーティング生地
イ. 面ファスナー	幅50mm
ウ. 反射材	75mm幅 (イエロー/シルバー)
エ. アイレット	アルミ製
オ. 縁パイピング	杉綾テープ
カ. 縫製糸	メタ型アラミド 100% 40番 パラ型アラミド (フィラメント) 30番 (反射材部分)

3. 縫製基準

ア. 各部の縫い合わせや糸調子は良好である事。

イ. 縫い代は約1cmとし表地はオーバーロックを掛け、縫い始めと縫い終わりは返し針を施す。

4. 縫製仕様

(1) ポケット部

ア. 雨蓋付きポケットとし、ポケットは上端から約1cm下り中央部に縦横約5cmの面ファスナーを取り付ける。

イ. 雨蓋は左右の先端を小丸とし、裏側の先端から約1cmに縦6cm、横約5cmの面ファスナーを取り付け、縁は地縫いのうえ縁から約7mmで飾り縫いとする。

ウ. 雨蓋の大きさは幅約12cm、長さ約12cmとする。

エ. ポケットの大きさは幅約12cm、深さ約19cm、マチ幅約5cmとする。

オ. ポケット口は約3cm内側に折り曲げた三つ巻き縫いとし、両端は閉止めすること。

カ. ポケット縁下部は左右の先端を小丸とする。

キ. ポケット底部に水抜き穴を設ける。

ク. ポケット裏面に補強のため裏地を縫い付ける。

ケ. 形状は別図のとおりとする。

(2) ベルト通し部

ア. ポケット上部に墜落制止用器具へ取り付けが出来るようにベルト通しを設ける。

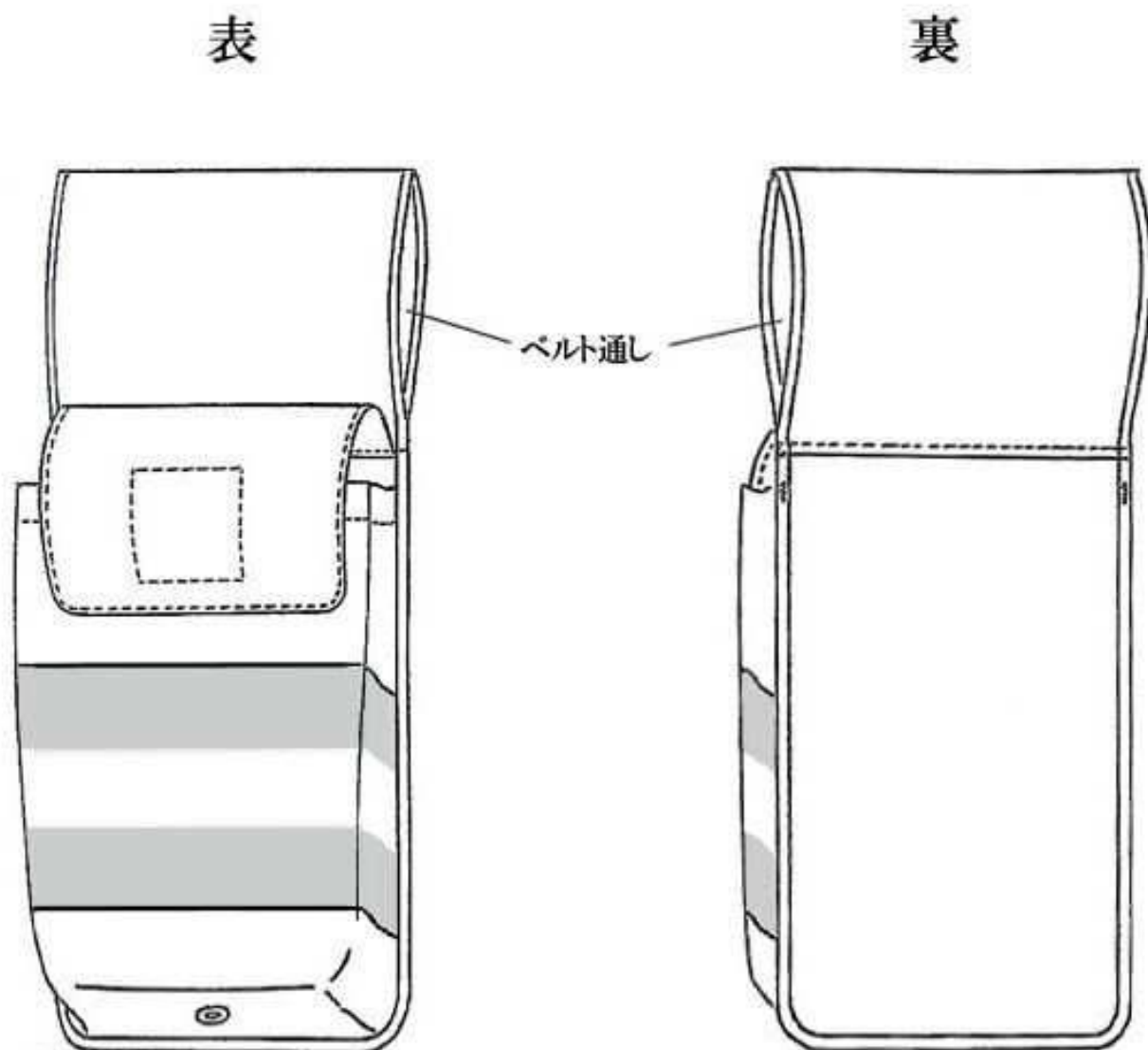
イ. ベルト通しの有効長さは約9cmとする。

ウ. 内側に補強のため裏地を縫い付ける。

(3) 縁パイピング

ア. ポケットとベルト通しの縁に補強のためパイピングを縫い付ける。

概要図



第6章 防火靴

1. 概要

この防火靴は、現場活動等において運動機能性の向上及びストレス軽減を考慮し、且つ安全性を保持したものとする。

2. 形状

- ア. 色は黒色とする。(爪先に黄色のトーキャップ、踵に蛍光イエローの反射材付き)
- イ. 内外の調節紐での編上げにより太さが調節できる構造とし、調節紐にてサイズ調節を行った後センターファスナーで脱着を容易にする構造であるもの。
- ウ. 製法は、射出成形製法によるものとする。
- エ. 中底に踏抜防止素材を入れ、爪先部に樹脂製先芯を入れたものとする。
- オ. 履き口内側と外側及び舌革の上端部分に通気孔を設けた構造であるもの。
- カ. センターファスナーのスライダーは、手袋を着用したままで操作できるものとする。
- キ. 中敷はカップインソールとし、着脱可能であること。
- ク. ライニングには防水透湿素材を用い、防水構造であること。

3. 品質

(1) 外観

- ア. 各縫製部分において、各縫い合わせの上下糸につれやたるみがないものとする。
- イ. 縫い目において、目飛びや縫い外れのないものとする。
- ウ. 吊り込みが十分になされており、本底との接着が完全に行われているものとする。
- エ. 付属品(ハトメ、ファスナーなど)の取り付けは賢固であるものとする。
- オ. 使用上有害な傷、亀裂、破れ、異物の付着、その他これらに類する欠点がないこと。
- カ. 目立って外観を損なうような斑点、色ムラ、汚れ、模様の不鮮明、その他の欠点がないこと。
- キ. 本底には使用目的に合致した滑り止め、その他の意匠があること。
- ク. ライニングは外観が良好で傷等のないこと。
- ケ. ライニングとアッパーの間のインシュレーションに折れ等がなく、足あたりに影響のない状態であるものとする。

(2) 性能

革製防火靴は、別表1の規格に適合するものとする。

4. 寸法

(1) 形状

革製防火靴の形状は付図1を参照すること。また、ソールの意匠については付図2を参照すること。

(2) サイズ

革製防火靴のサイズはMondo point : 23.0~30.0とし別表2のとおりとする。

5. 質量

完成質量は、2.3kg/足以下であること（サイズ Mondo point 26.0 で実施すること）

6. 包装及び表示

(1) 適宜箱に入れ、品名、サイズを明記するものとする。

【別表1】

区分	試験項目		規格	試験方法
甲革	厚さ(mm)		2.0 以上	JIS K6550
	銀面割れ	高さ(mm)	6.0 以上	JIS K6548
		荷重(N)	150 以上	
	透湿度(mg/cm ² ・h)		5 以上	ISO 14268
	吸水性(mm・h)		10 以下	JIS L1907 ハイック法
表底	引張試験	引張強さ(Mpa)	14 以上	JIS K6251
		伸び(%)	300 以上	
	引裂試験	引裂強さ(N/mm)	35 以上	JIS K6252
ライニング	耐水度(kPa)		350 以上	JIS L1092 B 法目皿使用
	透湿度(g/m ² ・h)		200 以上	JIS L1099 B-2 法
完成品	耐衝撃性(mm)		14.0 以上 サイズ 26.0	JIS T8101 衝撃エネルギー 200±4 J
	耐圧迫性(mm)		14.0 以上 サイズ 26.0	JIS T8101
	耐踏抜き性(N)		1,100 以上	JIS T8101
	かかと部の衝撃エネルギー吸収性(J)		25 以上	JIS T8101

【別表2】

サ イ ズ (単位: Mondo point)												
23.0	23.5	24.0	24.5	25.0	25.5	26.0	26.5	27.0	27.5	28.0	29.0	30.0

【付図-1】



【付図-2】

